

看護専門科目	共通基盤看護学					
看護学科	必修	2単位	実習	平成30年度	後期	2年次
科目名	共通基盤看護学実習Ⅱ（健康回復過程を支える看護） Adult Health Nursing PracticumⅡ (Restriction and Rehabilitation)					
担当教員	◎林みよ子 岩本淳子 三毛美恵子 塚原節子 松井利江 斎藤洋子 山中政子 森嶋道子 小川朋子 森本茜 森友美					
目的	健康問題を有する対象の回復を促進するための看護実践を通して、看護過程を展開する基礎的能力を習得する。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受け持つ患者の身体的・心理社会的特徴を説明できる。 2. 受け持ち患者の全体像から主な看護問題を特定できる。 3. 取り上げた看護問題を解決するための看護計画を立案できる。 4. 受け持ち患者の回復過程を促進するための看護援助を実施できる。 5. 受け持ち患者やその家族を尊重した姿勢で援助できる。 6. 受け持ち患者と良い人間関係を構築できる。 7. 看護チームの一員としての自覚を持って行動できる。 8. 実習期間を通して主体的かつ積極的に課題に取り組むことができる。 					
他科目との関連	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本科目は、以下の科目のうちの既習内容を基盤とする。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 共通専門基礎科目のうちの【体のしくみと医療】科目群 2) 看護専門科目のうちの【共通基盤看護学】科目群 2. 特に、実践基礎論Ⅲ・共通基盤看護学実践論Ⅰ・共通基盤看護学実習Ⅰにもとづき、今後実施する共通基盤看護学実習Ⅲ・共通基盤看護学実習Ⅳに関連する。 					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	記録等	実習評価表に記載する看護過程展開項目の到達度				0.5
	その他	実習評価表に記載する上記を除く項目（ケア実践や姿勢・学習の取り組み）の到達度				0.5
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	関連科目の授業で配布された資料および使用・推奨された図書					
参考資料	適宜紹介					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	実習前には、臨地実習共通ガイドおよび実習指導要項をよく読み、実習内容・方法をよく理解しておく。 実習期間を通して、しっかりと体調管理をして学習に臨む。					